

1. 科目名 (単位数)	福祉行財政と福祉計画 (2単位)	3. 科目番号	SBMP3103
2. 授業担当教員	尹 文九		
4. 授業形態	講義、グループ討議等	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	<p>市場の失敗が問われている現在、これからは福祉分野においても、行政の役割が市場機能より重要になると考えられる。こうした問題意識から本講義は福祉と関連し、パブリック（行政）が行っている事について以下の点を中心に学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉の行財政の実施体制（国・都道府県・市町村の役割、国と地方の関係、財源、組織及び団体、専門職の役割を含む。）について理解する。</li> <li>・福祉行財政の実際について理解する。</li> <li>・福祉計画の意義や目的、主体、方法、留意点について理解する。</li> </ul>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 福祉分野において市場の失敗と行政の機能の変化について理解し、説明することができる。</li> <li>2. 福祉サービスの担い手として行政組織の役割について学習し、理解を深める。</li> <li>3. 福祉予算と福祉サービスの関係について学び、説明できるようになる。</li> <li>4. 福祉計画の理論と技法について、また、福祉計画がなぜ重要になってきたのかについて学び、説明できるようになる。</li> <li>5. 福祉行政の過程すなわち、plan→do→see→feed backについて学び、理解を深める。</li> <li>6. 福祉計画の策定するとき、なぜ住民参加が重要なのかについて理解し、説明することができる。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	課題1：福祉計画の中で一つを選び、その内容や分かったことについて1500字程度でまとめる。		
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 社会福祉士養成講座編集委員会 『福祉行財政と福祉計画』中央法規。</p> <p>【参考書】 坂田周一『社会福祉計画』有斐閣。</p>		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会福祉構造改革以後、変わった福祉行政のやり方について理解されているのか</li> <li>2. 福祉財政についてその内容と課題について理解されているのか</li> <li>3. 地域福祉と福祉計画地に関連し、それぞれの福祉計画について理解されているのか</li> <li>4. 発表や討議を通して発表力の向上できたのか</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業への積極的な参加度（討議や発表など）：40%</li> <li>2. 課題レポート及び予習ノート：30%</li> <li>3. 総括テスト：30%</li> </ol>		
12. 受講生への メッセージ	<p>本学の基本方針として学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を育成することを目的としている。受講生は上記の目的達成のため、下記の事を守ることが期待されている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 授業中は常に緊張感と集中力を保ち、積極的な態度で授業に参加すること。</li> <li>2) 席は前から男女混合で座ること。</li> <li>3) 授業中に理解できなかったことをそのまま放っておかず、質問をすること。</li> <li>4) 授業中は私語、居眠り、また途中入出をしないこと（正当な理由以外は減点の対象になる）。</li> <li>5) 宿題及びレポートの提出期間を厳守すること。</li> <li>6) グループ討議にはメンバー全員が積極的に参加することと他人が発表するときにはきちんと傾聴すること。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	授業中に通知する(時間割表掲載のオフィスアワー欄参照)		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 第1セクター(民間)と第2セクター(行政)の相違点	事前学習	学習用ノートを準備し、シラバス・教科書に目を通し、講義に臨むこと
		事後学習	行政と民間の相違点についてまとめる
第2回	福祉と制度 福祉を実現する主体と機能、社会福祉の捉え方、社会福祉と社会保障の違いについて	事前学習	pp. 2～10を熟読し、要点をまとめる
		事後学習	社会福祉の概念の変遷についてまとめる
第3回	福祉の法制度の展開 時代によってどのような制度ができ、特徴があるのか、社会福祉における市場と行政の機能変化について	事前学習	pp. 11～23を熟読し、要点をまとめる
		事後学習	社会福祉における市場と行政の機能変化についてまとめる
第4回	福祉計画の概要 社会福祉と計画の関係、福祉行政と福祉計画について	事前学習	pp. 24～31を熟読し、要点をまとめる
		事後学習	福祉行政と福祉計画についてまとめる
第5回	行政の骨格と社会福祉の法制度 政府の役割と地方自治体の関係、社会福祉の法令を読むポイント	事前学習	pp. 34～43を熟読し、要点をまとめる
		事後学習	社会福祉関連法令の専門用語をまとめる
第6回	福祉行政の組織(中央及び地方政府を中心に)	事前学習	pp. 44～51を熟読し、要点をまとめる
		事後学習	厚生労働省の機能についてまとめる

第7回	社会福祉基礎構造改革と福祉サービスの利用方式の分化について	事前学習	pp. 54～60 を熟読し、要点をまとめる
		事後学習	福祉サービスの利用方式についてまとめる
第8回	財政と社会福祉 社会保障給付費とは、社会保障給付費の推移、社会保障関係費の動向について	事前学習	pp. 62～68 を熟読し、要点をまとめる
		事後学習	日本の社会保障給付費の動向の特徴についてまとめる
第9回	地方自治体の財政と民生費の動向、民間と利用者負担	事前学習	pp. 69～75 を参考に自分が住んでいる地方自治体の民生費を調べてまとめる
		事後学習	日本の民生費の動向の特徴についてまとめる
第10回	福祉行政の専門機関と専門職 福祉関連専門機関と専門職にはどのようなものがあるのか	事前学習	pp. 86～100 を熟読し、要点をまとめる
		事後学習	講義で理解した内容をまとめる
第11回	福祉計画の基本的視点 計画と計画化、目標と目的の違いや PDCA サイクル、福祉計画の概念や主体そして類型について	事前学習	pp. 116～133 を熟読し、要点をまとめる
		事後学習	福祉計画のプロセスについてまとめる
第12回	福祉計画におけるニーズ把握について	事前学習	pp. 134～141 を熟読し、要点をまとめる
		事後学習	客観的ニーズと主観的ニーズの関係についてまとめる
第13回	福祉計画における評価について	事前学習	pp. 142～148 を熟読し、要点をまとめる
		事後学習	評価技法についてまとめる
第14回	福祉計画の事例研究の視点と種類について	事前学習	pp. 158～163 を熟読し、要点をまとめる
		事後学習	講義で理解した内容をまとめる
第15回	福祉計画における住民参加の方法となぜそれが重要なのか	事前学習	pp. 149～155 を熟読し、要点をまとめる
		事後学習	住民参加の方法及び重要性についてまとめる
期末試験			